



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月11日

上場会社名 OUGホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8041 URL <http://www.oug.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷川 正俊
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営基盤グループ (氏名) 中江 一夫 TEL 06-4804-3033
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	154,666	3.9	111	△43.9	183	△13.9	△87	—
26年3月期第2四半期	148,801	1.5	198	—	213	—	43	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 154百万円 (△15.5%) 26年3月期第2四半期 183百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△1.60	—
26年3月期第2四半期	0.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	78,137	16,424	21.0	300.15
26年3月期	69,019	16,601	24.1	303.85

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 16,424百万円 26年3月期 16,599百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	315,000	0.8	1,800	△5.6	1,800	△8.0	1,200	△27.8	21.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	55,622,921株	26年3月期	55,622,921株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	900,881株	26年3月期	991,277株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	54,677,792株	26年3月期2Q	54,633,256株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更	3
(2) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税後の消費反動減がありましたが、企業収益や雇用・所得環境の改善に支えられ、緩やかな回復基調にありました。しかしながら、天候不順や円安の影響によるエネルギー資源の高騰等もあり、先行き不透明となっております。

個人消費は、回復基調が見られるものの個人消費に関わる商品やサービス等の価格上昇により節約志向が依然として続く中、消費行動は多様化してきております。

水産物流通業界におきましては、輸入水産物は円安及び国際競争の激化などにより調達コストが上昇し、販売競争が激化するなど厳しい経営環境下にありました。

このような環境にあって、当社グループは、全体最適のグループ経営のもと、販売力・調達力の強化、顧客起点志向の追求、地域に対応したソリューションの提供、業務の効率化、諸経費の節減などに注力し積極的な事業活動を展開してまいりました。

業績の状況につきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,546億66百万円（前年同四半期比103.9%）となりました。損益面では、売上総利益は102億64百万円（前年同四半期比97.9%）となり、営業利益1億11百万円（前年同四半期比56.1%）、経常利益1億83百万円（前年同四半期比86.1%）、四半期純損失87百万円（前年同四半期は四半期純利益43百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<水産物荷受事業>

中央卸売市場を核とする集荷販売機能をもつ水産物荷受事業は、取扱数量は減少したものの販売単価の上昇により売上高995億35百万円（前年同四半期比106.0%）となりましたが、仕入コストの上昇などによる売上総利益率の低下によりセグメント利益2億27百万円（前年同四半期比45.6%）となりました。

<市場外水産物卸売事業>

全国各地を網羅する販売拠点を活かした幅広い流通網をもつ市場外水産物卸売事業は、販売単価は上昇したものの販売数量の減少により売上高543億50百万円（前年同四半期比99.5%）、仕入コストの上昇及び市況の変動などによる売上総利益率の低下によりセグメント損失3億59百万円（前年同四半期はセグメント損失2億36百万円）となりました。

<養殖事業>

九州、四国にて、ハマチ、ブリ、マグロの養殖を展開する養殖事業は、販売数量は減少したものの販売単価の上昇などにより売上高30億81百万円（前年同四半期比125.5%）、餌料価格の上昇から生産コストは上昇しましたが、売上高の増加によりセグメント利益1億82百万円（前年同四半期はセグメント損失85百万円）となりました。

<食品加工事業>

消費地にある食品加工センターにて水産加工、量販店向けにおにぎり等米飯加工などを行う食品加工事業は、鮭鱒等の原料事情の悪化を主因とする販売数量の減少などにより売上高22億79百万円（前年同四半期比99.7%）となり、原材料価格の上昇など利益率の低下によりセグメント損失84百万円（前年同四半期はセグメント損失72百万円）となりました。

<物流事業>

物流センターにおいて、搬入された水産物等を量販店等の配送先別に仕分け、自社便にて配送を行う物流事業は、取扱い数量の減少などにより売上高8億94百万円（前年同四半期比86.9%）、セグメント損失42百万円（前年同四半期はセグメント損失27百万円）となりました。

<その他>

グループの水産物流通を補完するリース事業等その他は、当期より連結子会社を1社増加したことなどにより売上高24億17百万円（前年同四半期比106.1%）、セグメント利益17百万円（前年同四半期比59.3%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて91億17百万円増加し、781億37百万円となりました。主な要因は、たな卸資産の増加59億3百万円、受取手形及び売掛金の増加22億48百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて92億94百万円増加し617億12百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加55億62百万円、借入金の増加38億90百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて1億77百万円減少し164億24百万円(自己資本比率21.0%)となりました。主な要因は、配当金の支払3億33百万円などによる利益剰余金の減少4億33百万円、その他有価証券評価差額金の増加2億64百万円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、新規連結に伴う資金の増加2百万円を含め、前連結会計年度末と比べて2億40百万円増加し、22億6百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは24億53百万円の支出(前年同四半期33億76百万円の支出)となりました。仕入債務の増加54億72百万円(前年同四半期17億92百万円の増加)がありましたが、売上債権の増加21億28百万円(前年同四半期7億36百万円の減少)及びたな卸資産の増加58億97百万円(前年同四半期59億85百万円の増加)が主な資金の減少要因となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは5億6百万円の支出(前年同四半期3億46百万円の支出)となりました。有形固定資産の取得による支出4億3百万円(前年同四半期2億89百万円の支出)が主な資金の減少要因となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは31億97百万円の収入(前年同四半期39億25百万円の収入)となりました。ファイナンス・リース債務の返済による支出3億78百万円(前年同四半期3億65百万円の支出)及び配当金の支払3億31百万円(前年同四半期3億27百万円の支払)がありましたが、借入金の増加による純収入38億90百万円(前年同四半期46億19百万円の純収入)が主な資金の増加要因となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月13日に公表いたしました連結業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更

(連結の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間より、㈱モトイは重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(2) 追加情報

(従業員持株E S O P信託に関する会計処理方法)

当社は、当社グループ従業員に対する当社グループの中長期的な企業価値向上へのインセンティブ付与、福利厚生の拡充、及び株主としての資本参加による当社グループ従業員の勤労意欲高揚を通じた当社グループの恒常的な発展を促すことを目的とし、信託型従業員持株インセンティブ・プランとして「従業員持株E S O P信託」(以下、「E S O P信託」という。)を導入しております。

E S O P信託に関する個別財務諸表の会計処理については、総額法を適用しており、E S O P信託が保有する当社株式は純資産の部に自己株式として表示しております。

なお、総額法の適用により計上されている自己株式の帳簿価額は、前連結会計年度末174百万円(946,000株)、当第2四半期連結会計期間末154百万円(838,000株)、借入金の帳簿価額は、前連結会計年度末174百万円、当第2四半期連結会計期間末145百万円であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,971	2,211
受取手形及び売掛金	26,461	28,710
商品及び製品	18,352	24,156
仕掛品	1	0
原材料及び貯蔵品	202	302
その他	1,091	1,397
貸倒引当金	△259	△276
流動資産合計	47,822	56,502
固定資産		
有形固定資産	11,291	11,332
無形固定資産	3,409	3,419
投資その他の資産		
投資有価証券	5,544	5,935
その他	1,870	1,699
貸倒引当金	△918	△752
投資その他の資産合計	6,496	6,882
固定資産合計	21,197	21,634
資産合計	69,019	78,137
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,349	23,911
短期借入金	16,315	20,635
1年内返済予定の長期借入金	1,842	1,766
未払法人税等	157	182
賞与引当金	649	621
その他	3,554	3,570
流動負債合計	40,867	50,688
固定負債		
長期借入金	6,417	6,064
退職給付に係る負債	2,436	2,381
役員退職慰労引当金	102	76
その他	2,592	2,500
固定負債合計	11,550	11,024
負債合計	52,417	61,712

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,495	6,495
資本剰余金	6,090	6,090
利益剰余金	3,765	3,332
自己株式	△183	△167
株主資本合計	16,168	15,750
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	792	1,057
繰延ヘッジ損益	3	△1
土地再評価差額金	△337	△337
退職給付に係る調整累計額	△26	△44
その他の包括利益累計額合計	431	673
少数株主持分	2	—
純資産合計	16,601	16,424
負債純資産合計	69,019	78,137

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	148,801	154,666
売上原価	138,317	144,402
売上総利益	10,484	10,264
販売費及び一般管理費	10,285	10,153
営業利益	198	111
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	87	88
その他	104	144
営業外収益合計	194	235
営業外費用		
支払利息	152	139
その他	27	23
営業外費用合計	179	163
経常利益	213	183
特別損失		
固定資産除却損	9	—
固定資産売却損	6	—
事務所移転費用	—	11
特別損失合計	16	11
税金等調整前四半期純利益	197	172
法人税、住民税及び事業税	138	180
法人税等調整額	15	79
法人税等合計	153	259
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	43	△87
四半期純利益又は四半期純損失(△)	43	△87

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	43	△87
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	147	264
繰延ヘッジ損益	△7	△4
退職給付に係る調整額	—	△17
その他の包括利益合計	139	242
四半期包括利益	183	154
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	183	154

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	197	172
減価償却費	451	415
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△38	△36
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△59	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	△72
賞与引当金の増減額(△は減少)	10	△28
受取利息及び受取配当金	△89	△91
支払利息	152	139
売上債権の増減額(△は増加)	736	△2,128
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,985	△5,897
仕入債務の増減額(△は減少)	1,792	5,472
その他	△311	△189
小計	△3,143	△2,244
利息及び配当金の受取額	89	91
利息の支払額	△156	△146
法人税等の支払額	△166	△153
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,376	△2,453
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△289	△403
投資有価証券の取得による支出	△13	△16
長期貸付けによる支出	△1	△18
長期貸付金の回収による収入	11	8
その他	△53	△75
投資活動によるキャッシュ・フロー	△346	△506
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	5,040	4,320
長期借入金の返済による支出	△420	△429
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△365	△378
配当金の支払額	△327	△331
その他	△0	16
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,925	3,197
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	202	237
現金及び現金同等物の期首残高	1,779	1,966
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	2
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,981	2,206

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	水産物 荷受事業	市場外 水産物 卸売事業	養殖事業	食品加工 事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	90,623	53,428	1,763	878	535	147,229	1,571	148,801	—	148,801
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,242	1,221	691	1,407	494	7,057	707	7,765	△7,765	—
計	93,866	54,650	2,454	2,285	1,029	154,287	2,279	156,566	△7,765	148,801
セグメント利益 又は損失(△)	499	△236	△85	△72	△27	76	29	106	91	198

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業及び水産物仲卸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額91百万円には、セグメント間取引消去600百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△509百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	水産物 荷受事業	市場外 水産物 卸売事業	養殖事業	食品加工 事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	96,174	53,216	2,345	856	476	153,068	1,598	154,666	—	154,666
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,361	1,134	736	1,422	418	7,073	819	7,892	△7,892	—
計	99,535	54,350	3,081	2,279	894	160,141	2,417	162,559	△7,892	154,666
セグメント利益 又は損失(△)	227	△359	182	△84	△42	△75	17	△58	169	111

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業及び水産物仲卸事業等を含んでおります。

また、第1四半期連結会計期間より、(株)モトイは重要性が増したため、連結の範囲に含めており、「その他」に含めて表示しております。

2. セグメント利益又は損失の調整額169百万円には、セグメント間取引消去676百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△507百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。